開講科目名	集中日本語中級				
成績入力担当	朴 鍾祐、野村 真紀、島津 浩美、前田　真奈美			開講区分	単位数
				後期	0.0単位
ナンバリングコード	R1IS050	曜日・時限等	月1、月2、火1、火2、木1、木2、金1、金2(対面)	時間割コード	3R453

授業のテーマ

中級レベルの日本語（4技能）を総合的に身につける。

授業の到達目標

1.大学、大学院の勉強に必要な日本語の運用力を身につける。
2.日本語能力試験N2のレベルに達することを目指す。

授業の概要と計画

＊本講義は対面で実施します。

本授業では、４人の教員が授業を担当する。
（月：朴　火：野村　木：島津　金：前田）
テキストは、朴:『留学生のためのアカデミックプレゼンテーション入門』配布資料、野村:『上級読解入門』、島津:『どんなときどう使う日本語表現文型500』、前田：『タスクベースで学ぶ日本語［中級］』
授業計画は以下のとおり。（朴 / 野村 / 島津 / 前田 ）

第１週　ニュース等 / 第1課・他教材 / 第1課 / unit2
第２週　ニュース等 / 第2課・他教材 / 第1.2課 / unit2
第３週　テーマ授業 / 第3課・他教材 / 第2課 / unit2
第４週　テーマ授業 / 第4課 / 第3課 / unit4
第５週　発表事前準備 / 第4.5課・他教材 / 第3.4課 / unit4
第６週　発表① / 第5課・他教材 / 第4課 / unit4
第７週　ニュース等 / 第6課 / 中間テスト及び復習 / unit5
第８週　スピーチ等 / 中間テスト・7課 / 第5課 / unit5
第９週　テーマ授業 / 第7課・他教材 / 第5.6課 / unit5
第10週　ニュース等 / 第8課 / 第6課 / unit7
第11週　スピーチ等 / 第9課 / 第7課 / unit7
第12週　発表事前学習 / 第9.10課・他教材 /　第7.8課 / unit7
第13週　スピーチ等 / 第10課 / 第8課 / unit9
第14週　発表準備 / 期末テスト・第12課 / 第9課 / unit9
第15週　発表② / 第14課・他教材 / 期末テスト / 期末テスト

週８コマ（総時間240時間）

成績評価方法

テスト（期末試験、小テスト） 課題・発表、 授業参加度で評価する。
＊本コースは（２４０時間）に対し、一つの評価を総合的に付与する。
　テスト・ 発表　 70%
　課題.　　20%
　参加度　　10%
※出席率80%以上で評価の対象とする。

成績評価基準

・文型を正確に理解したか
・既出漢字語彙を覚えたか
・文章の理解ができたか。
・アカデミック表現で発表ができたか
・課題の作成はできたか

履修上の注意（関連科目情報）

対象者：
・本授業は中級レベルの授業である。日本語を300時以上の初級日本語修了者を対象とする、または、CIEJJTESTの中級のレベル成績である者。
・交換留学生（特別聴講学生）履修可：中級のレベルの日本語能力を有すること
・受講希望者は、指導教員と相談し、日本語学習の必要性及び、専門科目の学習と時間的に問題がないことを確認の上、指導教員から受講申込書を提出し、許可を受ける必要がある。

事前・事後学修

曜日ごとに授業内容が異なるのでそれぞれの教師の指示に従って課題や復習を行うようにする。
本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

木曜日 15:10-16:40
E-mail:jwpark[AT]kobe-u.ac.jp
※上記のアドレスの[AT]の部分をアットマーク@（半角）に置き換えた上で、宛先に入力。
TEL:078-803-5271

学生へのメッセージ

中級の文法や語彙をしっかり身につけながら、アカデミック日本語として使えるように頑張りましょう。

今年度の工夫

学習した内容をもっとアウトプットできるように工夫する

教科書

・『タスクベースで学ぶ日本語［中級］』
・どんなときどう使う日本語表現文型500（改訂版）
・上級読解入門

日本語を学ぶ人のための「上級読解」入門 / 仙波千枝 : 国書刊行会 ,2015 ,ISBN:9784336059703
どんなときどう使う日本語表現文型500（改訂版） / 友松悦子、宮本淳、和栗雅子 : アルク ,2010 ,ISBN:9784757418905
タスクベースで学ぶ日本語 中級 / 国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程 : , ,ISBN:

参考書・参考資料等

アカデミックプレゼンテーション入門 / 三浦香苗・岡澤孝雄・深澤のぞみ・ヒルマン小林恭子 : ひつじ書房 ,2006 ,ISBN:4894763370

授業における使用言語

日本語

キーワード

・中級日本語
・交換留学生（特別聴講学生）可